

THE WEEKLY REPORT 2003▶2004



TAKIKAWA

ROTARY CLUB

第2337回 2225 1月29日(木)



「百合の咲く庭園」 撮影／滝川ロータリー名誉会員 神部弘二

ロータリーテーマ：手を貸そう

ROTARY THEME : LEND A HAND

2003~04 国際ロータリー会長 ジョナサン.B.マジリアベ氏

「変革にチャレンジ」 林 博 幸 会長

第2336 回例会記録 1月22日(木)

副会長挨拶・報告



一昨日から大寒ということでございますけれど、今日も穏やかな日が続いております。九州や鹿児島などでは大雪ということがございますが、滝川地方は雪がなく、過ごしやすい毎日だと思います。今日は、ご案内のように大橋先生をお招きして川柳と遊ぶということでございます。私などは日頃、いつも数字や雑事に追われて、ゆとりのあるこういう時間を持つことができませんで、だんだん右脳が退化していくのではないかという気がします。今日は、このような機会をつくって頂けて、中島委員長には感謝を申し上げたいと思っております。この後、先生から十分お話を頂いて、私達もなにかいい作品ができればなぁと感じております。今日は、よろしくお願い致します。

幹事報告

相田副幹事

川口幹事不在のため、私が代わりに幹事報告をさせていただきます。

米山記念奨学会より今年度の特別寄付、個人寄付につきまして、確定申告で税務署に提出して頂く必要書類が送られてきております。現在、事務局の橘さんの方から皆さんにお配りしていますけれど、申告の際は、2種類がセットでございますので、必ず2種類をセットにして提出のほどよろしくお願い致します。

下期の会費納入の期限が今月の30日までとなっております。未納の方、30日までに会費納入をお願い致します。

委員会報告

雑誌委員会より1月号友の紹介

先週のプログラム

ゲスト卓話

職業分類委員会担当

中島 健委員長



今日は、担当例会ということで「川柳と遊ぶ」と題してまして、ご講演頂くことになっております。皆さんもご存知のように、2001年

の規定審議会で今まで同一業種会員一人ということで、ずっと長い間、ロータリーが進められてきたわけですが、2001年の審議会において、同一業種の10パーセントルールといいますが、100名以上の会員を有するロータリークラブについては、その会員数の10パーセント同じ業種の方がいってもいいですよということになりました。これには、いろいろと賛否があると思っておりますけれど、画期的な改革ということもございまして、昨年度、滝川ロータリークラブでも分類を大幅に見直したという経過がございます。そして、今年度、私が委員長なわけなんですけれど、増強に伴う、未充填の業種といいますが、分類といいますがまだ出てきておりません。分類委員会は3名なのですが、今年度は大変暇な委員会運営をしております。景気も影響していると思っておりますけれど、我々一人一人がロータリアンという自覚をしっかり持ち、行動して、周りの人から「さすが、ロータリーだ」と言われるようなロータリーであれば、増強についても、そんなに苦労しなくてもいいかもしれません。是非、そのようなロータリークラブになって頂きたいなと思っております。それと、ロータリークラブは、異業種の会員の集いでありまして、分類表に載っている以外の業種の方も皆さんで大いに発掘して、入会を勧めて頂ければと思っておりますし、増強といいますが、やはりロータリーの精神を広く知らしめる

という意味合いにおきましても大変重要なことですので、増強についても皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

それでは、今日の例会「川柳と遊ぶ」と題しまして、講師例会を開催致します。ロータリーの友にも載っておりますように、川柳というと大変ポピュラーなものだと思います。川柳という言葉自体は、覚えておりますし、なんとなく分かるような気がしますけれど、ロータリーの友の川柳とか新聞に載っている川柳をじっくり読んだという経験がございませんので、文学的センスはあまりないのですが、今日は皆さんと共に川柳について、勉強したいと思っています。

それでは、今日の講師をご紹介させていただきます。砂川市在住の大橋政良さんで、砂川川柳社の代表をされております。

川柳楽書帳

- 川柳と遊ぶ -



大橋 政良様

ご紹介頂きました、川柳空知の大橋、本名は「政良」ですけれど、呼び名を「せいりょう」という号で呼んでおりますので、よろしくお願い致します。

川柳を作ろうとする人へ

川柳のはじまり

川柳はその昔前句付けと呼ばれ、今から2百年前に江戸に興りました。

川柳という名称は前句付けの選者、柳祖、柄井八右衛門川柳の雅号から付けられました。

前句付けとは

かみなりをまねて腹かけやつとさせ(前句)

こわい事かなこわい事かな

古川柳

前句付けから独立して一句立てとなり、柳祖川柳の選句1万数千句をまとめた「柳多留」24編を古川柳と呼んでいます。

川柳と俳句

川柳をやっていると言えば必ずというくらい川柳と俳句の違いを聞かれます。

川柳と俳句の違い

内容 = 川柳 / 主として人間生活を詠う

俳句 / 花鳥風月など自然が主体となる

言葉 = 川柳 / 国語体で現代かなづかいが原則

俳句 / 主に文語体で旧かなづかい

約束事 = 川柳 / 特にありません

俳句 / 季語を入れて季感を持たず

(ただし無季俳句という例外もある)

切れ字 = 川柳 / ほとんど使わない

俳句 / 多く使う

(や、かな、けり等)

俳人 山口誓子先生は著書の中で

“俳句は沈み、川柳は流れる”と書いています。つまり俳句は一句の完結性を重んじるのに対して川柳は、余韻を後ろにひっぱってゆく事に重点を置くと言っています。

柳人 池田南岳先生は著書の中で

“家を内と外に分けると、外は俳句で内は川柳である”と言っています。俳句はよそゆき、川柳はふだん着の顔の違いを言っています。

もっとわかりやすく句で説明します。

“古池や蛙^{かわず}とび込む水の音” 芭蕉

“古池や蛙^{かえる}が自殺したという” 政良

川柳の要素

- ・ 穿ち = 横から見たり、裏から見たり
 - ・ 笑い = 哀愁の漂うユーモア
 - ・ 軽み = ふと肩の力を抜いた、わび、さび、匂いなど
 - ・ 穿ち、皮肉、風刺(せんさくする)
- “現実に耐えねばならぬパンの耳” 美津子
- 職をさがしても職はない。パンの耳でも食べて耐えねばならぬとは、精一杯の皮肉か…。
- ・ 笑い、おかしみ

“足跡をたどれば父のあみだくじ” 登史生
貧乏ぐらしの父であみだくじの使い走り
をしておぼれにありついていた父の、そ
んな悲しい自嘲の笑いだろう。

・軽み、わび、さび

“苦勞して母はひとつかみの背中” ぶんじ
子育てと生活の板挟みの中で、心勞が重
なって痩せ細った母の老いた姿が淋しく胸
をしめつけてくる。

川柳と遊ぶ

情操を豊にしよう

- ・右脳人間になろう
- ・夕焼空が恥かしている
- ・川柳を仕事や暮らしの中に生かしてほ
しい

川柳と遊ぶ

- ・楽しい職場づくり
- ・考える力を養おう
- ・商品、会社のPRに
- ・老化しない頭の体操
- ・友達をつくろう

結び

私の好きな相田みつをの詩を朗読して終
わります。

そのうちに 相田みつを作

そのうちお金がたまったら
そのうち家でも建てたら
そのうち子どもから手がはなれたら

そのうち そのうち そのうちと
できない理由をくりかえしているうち
結局は何もやらなかった
むなしい人生の幕がおりて
頭上に淋しい墓標が立つ

そのうち そのうち 日が暮れる
いまきたこの道帰れない

最後に「携帯を買ってはみたが不携帯」
ご静聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

武田 邦彦会員 3番目にしてやっと男
の孫が誕生して。

今野 正一会員 妻の四十九日を終えて。
今日から例会出席をさせていただきます。

三浦 晃裕会員 新年例会をご利用頂い
て。(華園のおやし)

中島 健会員 担当例会を終えて。

相田 正弘会員 川口幹事の代理をして、
又、ニコニコ委員長ご苦勞様。

2/5(木)例会...広報委員会担当
ゲスト卓話「タバコの害と喫煙について」

会長/林 博幸
幹事/川口 義弘
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日 ●毎週木曜日 PM12:30
例会場 ●ホテルスエヒロ
事務局 ●☎073-0032滝川市明神町2丁目2-16
ホテルスエヒロ7F TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。